

## 高齢者の事例検討（４）

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

ケアプランを中心にした事例検討会について、その進め方及び留意点を説明します。検討会の参加者は、ケアプランの中身を検討することで現在悩んでいる点及び今後の作成にあたって参考となること等を望んでいると思います。その目的にそった内容にするためにも各参加者の考え方の整理が必要であり、一定のルールを守ることで充実した時間を共有できることとなります。

### 1 この事例検討の目的は、

- ・ 発表者、参加者が、日常のケアプラン作成を振り返り
- ・ 利用者への自立支援、尊厳の確認
- ・ アセスメントの内容確認
- ・ 的確・適正なサービス等の確認
- ・ 目標期間の設定の重要性
- ・ サービス種類の確認と効果
- ・ 継続ケースにおける評価の認識
- ・ ケアマネジャーの活動の必要範囲の確認

などですが、ケアプランは利用者、家族並びに事業者等に理解されることが前提ですから、そのことも大切に考えてください。

### 2 進め方及び内容

#### （１）事例の発表

発表者は、事例ケアプランの作成に至った理由を説明する。

- ・ アセスメントの概略説明
- ・ ケアプランの第１表の説明
- ・ ケアプランの第２表・第３表の説明

#### （２）質問

参加者による質問

- ・ 高齢者の事例検討（１）～（３）の留意点等参照
- ・ 事例ケースの共有
  - ケアプランの第１表の理解
  - ケアプランの第２表・第３表の理解
  - ケアプランに記載されていない内容の理解

## ケアマネジャーの関わり方の理解

### (3) 意見

参加者による意見交換

- ・高齢者の事例検討（1）～（3）の留意点等参照
- ・事例ケースの方向性

ケアプランの第1表の内容

ケアプランの第2表・第3表の内容

ケアプランに記載されていない内容

ケアマネジャーの関わり方

### (4) まとめ

利用者、家族等が短期・長期の期間における満足度の向上  
的確、適正なケアマネジャーの関わり方